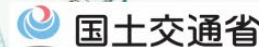


HAKUBAVALLEYプロジェクト(長野県白馬村)

観光×交通



事業実施主体

【共創プラットフォーム】
HAKUBAVALLEY共創プラットフォーム
【実施主体】HAKUBAVALLEY索道事業者プロモーションボード
【共創パートナー】一般社団法人HAKUBAVALLEY TOURISM (観光)
アルピコ交通株式会社 (交通)
大町市・白馬村・小谷村 (自治体)

地域課題

- ・ 二次交通が脆弱なため、観光客にとってHAKUBAVALLEYエリア(大町市・白馬村・小谷村)の周遊が困難。
- ・ 冬期の国内外の多数のスキー客に対して、シャトルバスの運行台数不足により、輸送力が需要に見合っておらず自家用車での来場が増加しており、駐車場不足、道路渋滞も発生。
- ・ バス運賃は現金払いのみのため、キャッシュレス決済のニーズに未対応。

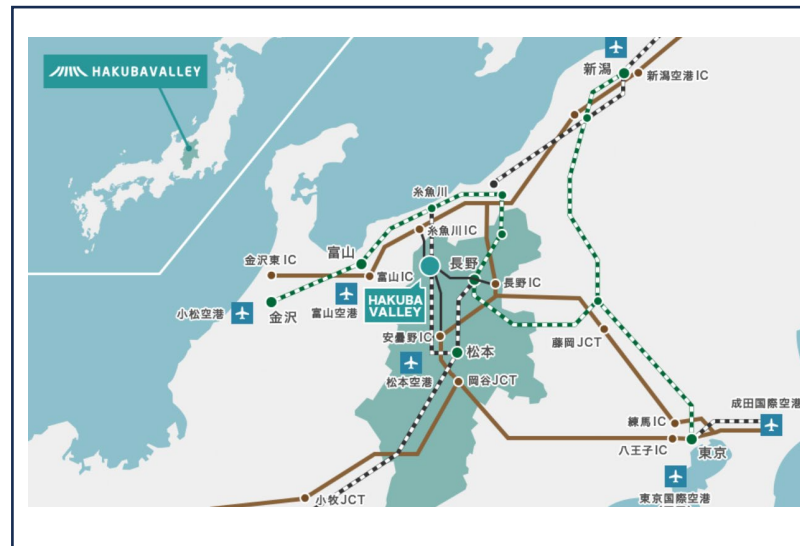
実証事業の内容

- ① シャトルバス運行台数増加・運行経路の見直しと運行時間帯の拡充
- ② 現金支払いに加え新たなキャッシュレス決済の導入
(HAKUBAVALLEY共通リフト券未所持者は有料対象)
- ③ バスロケーションシステムの導入

今後の展開

今年度の利用実態から更に需要に合わせた運行台数設定と時間設定を行い利便性向上を図りつつ夜間までの運行拡大を検討する。また、サービス付加価値向上による運賃の見直しを検討しつつ、地域住民・国内観光客・外国人旅行客と運賃を切り分けるなどの料金設定の検討も行う。

事業実施区域



事業体制

